

# 2024年2月23日(金)

	9:00~10:20	10:30~11:50	12:00~13:00	13:10~14:30	14:50~16:10	16:20~17:40
第1会場	<p>8:50~9:00 開会式</p> <p>■総合診療セミナー 1 (生涯教育・研修医セミナー) 中枢神経</p> <p>座長 寺田一志 (東邦大学佐倉病院放射線科)</p> <p>1) 頭痛と画像診断 向井宏樹 (千葉大学医学部附属病院放射線科)</p> <p>2) “もの忘れ”の画像診断 横山幸太 (東京医科歯科大学放射線科)</p>	<p>■総合診療セミナー 2 (生涯教育・研修医セミナー) 呼吸器</p> <p>座長 栗井和夫 (広島大学大学院放射線診断学)</p> <p>1) 胸部腫瘍のWHO分類(第5版)とその画像所見：肺癌を中心に 梁川雅弘 (大阪大学大学院放射線統合医学)</p> <p>2) びまん性肺疾患のup to date 岩澤多恵 (神奈川県立循環器呼吸器病センター放射線科)</p> <p>【機構認定】放射線学会</p>	<p>■ランチョンセミナー 1 ヨード造影剤の安全使用： 知識のUpDate</p> <p>座長 井上優介 (北里大学放射線科学画像診断学)</p> <p>講師 対馬義人 (群馬大学大学院放射線診断核医学)</p> <p>共催/パイエル薬品株式会社</p>	<p>■総合診療セミナー 3 (生涯教育・研修医セミナー) 泌尿器</p> <p>座長 新本 弘 (防衛医科大学校放射線医学)</p> <p>1) 泌尿器救急疾患の画像診断 扇谷芳光 (昭和大学放射線医学)</p> <p>2) 産婦人科救急疾患の画像診断 奥田茂男 (東京医療センター放射線診断科)</p>	<p>■シンポジウム 1, 2 AI</p> <p>司会 小林泰之 (聖マリアンナ医科大学医療情報処理技術応用研究) HPでご案内しております。 シンポジウム プログラム 第43回日本画像医学会 学術集会 (gazoigaku.gr.jp)</p>	
	第2会場	<p>■シンポジウム 3 肝がんのmimicker</p> <p>司会 中島 取 (聖マリア病院中央臨床検査センター臨床検査部) 吉満研吾 (福岡大学放射線医学)</p> <p>1) 画像・病理所見の類似性から肝癌と鑑別が必要な肝腫瘍性病変について 中島 取 (聖マリア病院中央臨床検査センター臨床検査部)</p> <p>2) 肝がんのmimicker ～CT・MRIの読影において知っておきたい知識～ 高山幸久 (福岡大学放射線医学)</p> <p>3) 肝細胞癌の造影超音波診断—世界的動向も含めて— 杉本勝俊 (東京医科大学消化器内科)</p>	<p>■シンポジウム 4 肝臓</p> <p>司会 小川眞広 (日本大学消化器肝臓内科学)</p> <p>1) 限局性結節性過形成の病理 尾島英知 (栃木県立がんセンター病理診断科・研究所分子病理分野)</p> <p>2) 時間・空間分解能を活かした限局性結節性過形成の超音波診断 小川眞広 (日本大学消化器肝臓内科学)</p> <p>3) 限局性結節性過形成 (FNH) のCT, MR 診断 岡田真広 (日本大学放射線医学分野)</p>	<p>■ランチョンセミナー 2 新しい核医学治療とイメージング</p> <p>座長 土屋純一 (東京医科歯科大学病院放射線診断科)</p> <p>1) 進化し続ける核医学治療の現状と将来 渡辺 悟 (金沢大学附属病院核医学診療科・機能画像人工知能学)</p> <p>2) 全身ダイナミックPETイメージングの臨床的有用性 加藤弘樹 (大阪大学放射線科学基盤機構先進アイトープ診療学共同研究部門)</p> <p>共催/シーメンスヘルスケア株式会社</p>	<p>■シンポジウム 5 肝門部領域胆管癌の広がり診断</p> <p>司会 五島 聡 (浜松医科大学放射線診断学) 岩下拓司 (岐阜大学医学部附属病院第一内科)</p> <p>1) 内視鏡を用いた肝門部領域胆管癌の進展度診断 岩下拓司 (岐阜大学医学部附属病院第一内科)</p> <p>2) 放射線科領域における肝門部領域胆管癌の広がり診断 成田晶子 (愛知医科大学放射線医学)</p> <p>3) 肝門部領域胆管癌の広がりの病理学的特徴 後藤慎太郎 (弘前大学大学院病理生命科学)</p>	<p>■シンポジウム 6 早期肺癌</p> <p>司会 齋浦明夫 (順天堂大学肝胆膵外科) 桑鶴良平 (順天堂大学放射線科)</p> <p>1) 早期肺癌の画像診断 井上 大 (金沢大学附属病院放射線科)</p> <p>2) 臨床：内視鏡を用いた早期肺癌診断の実際 谷坂優樹 (埼玉医科大学国際医療センター消化器内科)</p> <p>3) 早期肺癌の病理 永田耕治 (日本医科大学多摩永山病院病理診断科)</p>
第3会場	<p>■シンポジウム 7 顔面外傷</p> <p>司会 宮脇剛司 (東京慈恵会医科大学形成外科学) 山内英臣 (東京慈恵会医科大学放射線医学)</p> <p>1) 顔面外傷の画像診断 山内英臣 (東京慈恵会医科大学放射線医学)</p> <p>2) 下顎骨骨折の臨床 坂本由紀 (関西医科大学総合医療センター歯科口腔外科)</p> <p>3) 顔面骨骨折の臨床：特に頭蓋・顔面の境界界について 宮脇剛司 (東京慈恵会医科大学形成外科学)</p>	<p>■シンポジウム 8 口腔癌</p> <p>司会 橋本和彦 (東京歯科大学市川総合病院臨床検査科) 馬場 亮 (東京慈恵会医科大学放射線医学)</p> <p>1) 口腔癌の画像診断 馬場 亮 (東京慈恵会医科大学放射線医学)</p> <p>2) 口腔癌の手術 鈴木大貴 (東京歯科大学口腔がんセンター)</p> <p>3) 口腔癌の病理診断 橋本和彦 (東京歯科大学市川総合病院臨床検査科)</p>	<p>■ランチョンセミナー 3 認知症診療における 脳MRI検査</p> <p>座長 岩淵 雄 (慶應義塾大学放射線診断科)</p> <p>抗Aβ抗体製剤の安全使用のために：ARIAの知識と実践</p> <p>講師 掛田伸吾 (弘前大学大学院放射線診断学)</p> <p>共催/エーザイ株式会社、 バイオジェン・ジャパン株式会社</p>	<p>■シンポジウム 9 転移性脳腫瘍：どこまで知っていますか？</p> <p>司会 掛田伸吾 (弘前大学大学院放射線診断学)</p> <p>1) 診療のアップデート 浅野研一郎 (弘前大学大学院脳神経外科)</p> <p>2) 転移性脳腫瘍：画像診断の温故知新 井手 智 (産業医科大学放射線科学)</p> <p>3) 病理からみた転移性脳腫瘍 豊島靖子 (脳神経センター阿賀野病院脳神経内科)</p>	<p>■シンポジウム 10 脳血管障害：脳(内)出血のupdate</p> <p>司会 渡邊嘉之 (滋賀医科大学放射線医学)</p> <p>1) 脳出血に対する神経保護薬の可能性 原 英彰 (岐阜薬科大学薬効解析学)</p> <p>2) 脳出血の標準治療とトピックス 吉田和道 (滋賀医科大学脳神経外科)</p> <p>3) 画像診断全般 塚部明大 (市立豊中病院放射線科)</p>	
第4会場	<p>■シンポジウム 11 腫瘍と非腫瘍：鑑別は可能か？—腎・腎盂—</p> <p>司会 和田耕一郎 (島根大学泌尿器科学) 楯 靖 (島根大学放射線医学)</p> <p>1) 腎腫瘍、腎盂・尿管腫瘍の鑑別のポイント：泌尿器科の立場より 木島敏樹 (獨協医科大学泌尿器科学)</p> <p>2) 放射線科：必ず評価すべき内容/紛らわしい場合の鑑別のポイント 江戸博美 (防衛医科大学校放射線医学)</p> <p>3) 病理診断科：病理学的視点からのアドバイス 都築豊徳 (愛知医科大学病理診断学)</p>	<p>■シンポジウム 12 腫瘍と非腫瘍：鑑別は可能か？—膀胱・前立腺—</p> <p>司会 和田耕一郎 (島根大学泌尿器科学) 楯 靖 (島根大学放射線医学)</p> <p>1) 悪性腫瘍か良性疾患か、鑑別に苦慮した3症例～膀胱・前立腺・尿管～ 小林裕章 (防衛医科大学校病院泌尿器科学)</p> <p>2) 放射線科の視点：評価すべき内容と鑑別のポイント 吉田理佳 (島根大学放射線医学)</p> <p>3) 膀胱・前立腺における非腫瘍性病変と腫瘍性病変の鑑別のポイント—病理学的視点から— 佐藤 峻 (東京慈恵会医科大学附属病院病理部)</p>	<p>■ランチョンセミナー 4 Advanced body MRI ～新たな臨床価値創出に向けて～</p> <p>座長 辻川哲也 (福井大学病態解析医学講座放射線医学)</p> <p>1) 肝臓領域における4D-Flow MRI：新たな診断と治療へのアプローチ 檜垣 篤 (川崎医科大学放射線診断学)</p> <p>2) 腹部領域のAI画像再構成技術：Ingenia 3TにおけるSmartSpeedのインパクト 小坂 一斗 (金沢大学放射線科)</p> <p>共催/株式会社フィリップス・ジャパン</p>	<p>■シンポジウム 13, 14 (13:10~15:20) 卵巣奇形腫及びその関連疾患</p> <p>司会 清川貴子 (東京慈恵会医科大学病理学・同附属病院病理部) 藤井進也 (鳥取大学画像診断治療学)</p> <p>1) 卵巣奇形腫と関連腫瘍の病理 清川貴子 (東京慈恵会医科大学病理学・同附属病院病理部)</p> <p>2) 卵巣奇形腫及びその関連疾患 齋田 司 (筑波大学放射線診断・IVR学)</p> <p>3) 卵巣奇形腫の臨床 黒崎 亮 (埼玉医科大学国際医療センター婦人科腫瘍科)</p> <p>【機構認定・学会単位】産婦人科学会</p>		
第5会場	<p>■シンポジウム 15 気管支拡張症—過去・現在・そしてこれから</p> <p>司会 岡 輝明 (結核予防会複十字病院病理診断部) 仲村秀俊 (埼玉医科大学呼吸器内科)</p> <p>1) 本邦と欧米における気管支拡張症の臨床的動向 森本耕三 (結核予防会複十字病院呼吸器センター/臨床医学研究科、長崎大学大学院新興感染症病態制御学系抗酸菌感染症学)</p> <p>2) 画像 黒崎敦子 (結核予防会複十字病院放射線診療部)</p> <p>3) 気管支拡張症の形態学 岡 輝明 (結核予防会複十字病院病理診断部)</p>	<p>■シンポジウム 16 びまん性石灰化を呈する肺疾患： 肺胞微石症と肺骨化症を中心に</p> <p>司会 岡 輝明 (結核予防会複十字病院病理診断部) 萩原弘一 (自治医科大学呼吸器内科学)</p> <p>1) びまん性石灰化を呈する肺疾患：肺胞微石症と肺骨化症を中心に 久田 修 (自治医科大学呼吸器内科学)</p> <p>2) 画像から見た多発石灰化を来す肺病変 江頭玲子 (佐賀大学放射線医学)</p> <p>3) びまん性石灰化を呈する肺疾患の形態学—肺胞微石症と肺骨化症を中心に— 岡 輝明 (結核予防会複十字病院病理診断部)</p>	<p>■ランチョンセミナー 5 CANONの技術で真画像を導く</p> <p>座長 岡田真広 (日本大学放射線医学系放射線医学分野)</p> <p>1) 立位CTイメージング 山田祥岳 (慶應義塾大学放射線科学(診断))</p> <p>2) AI技術による胸部領域の新たな画像診断 岩澤多恵 (神奈川県立循環器呼吸器病センター放射線科)</p> <p>共催/キヤノンメディカルシステムズ株式会社</p>	<p>■シンポジウム 17 小細胞肺癌を主体とする高悪性度神経内分泌腫瘍</p> <p>司会 今井久雄 (埼玉医科大学国際医療センター呼吸器内科) 馬場康貴 (埼玉医科大学国際医療センター画像診断科)</p> <p>1) 小細胞肺癌を主体とする高悪性度神経内分泌腫瘍の治療の現状 今井久雄 (埼玉医科大学国際医療センター呼吸器内科)</p> <p>2) 当院における画像 review: 小細胞肺癌を主体とする高悪性度神経内分泌腫瘍を中心に 馬場康貴 (埼玉医科大学国際医療センター画像診断科)</p> <p>3) 肺の高悪性度神経内分泌腫瘍：小細胞肺癌の病理学的特徴について 清水禎彦 (埼玉県立循環器・呼吸器病センター病理診断科)</p>	<p>■レントゲンカンファレンス (15:30~17:30)</p> <p>司会 小山 貴 (倉敷中央病院放射線診断科) 統括 藤本 肇 (千葉大学医学部附属病院画像診断センター)</p> <p>出題 加藤大翼 (倉敷中央病院放射線診断科) 池田賢司 (京都大学大学院放射線医学) 影山咲子 (東北大学放射線診断科) 仲谷 元 (東京大学放射線科) 服部真也 (千葉大学医学部附属病院放射線科/画像診断センター) 大平健司 (静岡赤十字病院放射線科)</p> <p>回答 田中絵里子 (川崎幸病院放射線科) 橋本考明 (山梨大学医学部附属病院放射線科) 森島裕策 (滋賀県立総合病院放射線診断科) 八木文子 (慶應義塾大学放射線科学(診断)) 有蘭英里 (東京医科大学放射線科) 池島健吾 (聖路加国際病院放射線科)</p> <p>共催/コニカミノルタジャパン株式会社</p>	

吉満研吾大会長のこあいさつ